

黒髪事業場の過半数代表者信任投票

投票期間：

11月6日(水)午前9時～12日(火)午後4時まで

三澤 純氏を支持してください。

(熊本大学教職員組合 2019 年度執行委員長)

黒髪事業場の過半数代表者に立候補しました、人文社会科学研究部（文学系）の三澤純です。

この15年間、「選択と集中」をスローガンとした「大学構造改革」が進められた結果、国立大学運営費交付金は11.6%も削減され、教員定数の25%削減が現在進行中です。その結果、国立大学における教職員一人当たりの業務は激増し、労働環境は著しく悪化しました。特に、本学は賃金水準が、全国の国立大学の中であって最低ランクにあるのですから、そこで生じる矛盾は一層深刻です。私は、こうした状況が、学生・院生に与える悪影響を強く危惧します。

一方、2019年8月に発表された人事院勧告は、国家公務員給与が民間を下回っているとして、国会と内閣に対して、月例給・一時金ともに6年連続で引き上げを求めました。また人事院は、同時に提出した報告書で、公務員の職場環境を整備する必要性を強調し、新たなパワハラ対策の立案・実施を求めました。

私は、この人事院勧告の完全実施を求める立場から、使用者側に意見を述べ、職場環境の改善を求めています。具体的には、年休取得率の向上を図ること、「ただ働き残業」をなくすために実労働時間を正確に把握・記録すること、有期雇用労働者の正規化の拡大を図ること等を要求していきます。また2020年4月から全国一斉に実施される「同一労働同一賃金」が、本学でどのように運用されるのかについても注視し、制度本来の趣旨が不当に歪められないように努力します。

黒髪事業場の教職員の皆さまの信任が得られれば、他の事業場の過半数代表者と協力して、熊本大学で働く全ての職種の方たちの労働条件の改善を目指していきます。皆さまには是非、投票していただくようお願いするとともに、「過半数」の信任をいただきますように、切にお願いいたします。

過半数代表者は、事業場の過半数の支持を得る必要があります。そのため、組合は、使用者が法的義務を果たせるよう、これまでも各事業場の有権者への投票の呼びかけを行なってきたところです。**みなさまの一票が重要な意味を持ちます。**

黒髪地区のみなさまのご支持を重ねてお願いいたします。



熊本大学と雇用関係（10月1日在職者）にある職員（有期雇用職員・再雇用職員を含む）は**全員有権者**です。

学長・理事・監事・非常勤講師・TA・RA・医員（パートタイム職員の大学院生）、派遣以外の方は全員有権者です。

赤煉瓦

熊本大学教職員組合（黒髪版）

No. 10
2019. 11. 6

内線:3529 FAX:346-1247
ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp
http://union.kumamoto-u.ac.jp/